

## 保護者・地域と連携協働した 働き方改革と意識改革



### 浅口市立鴨方東小学校

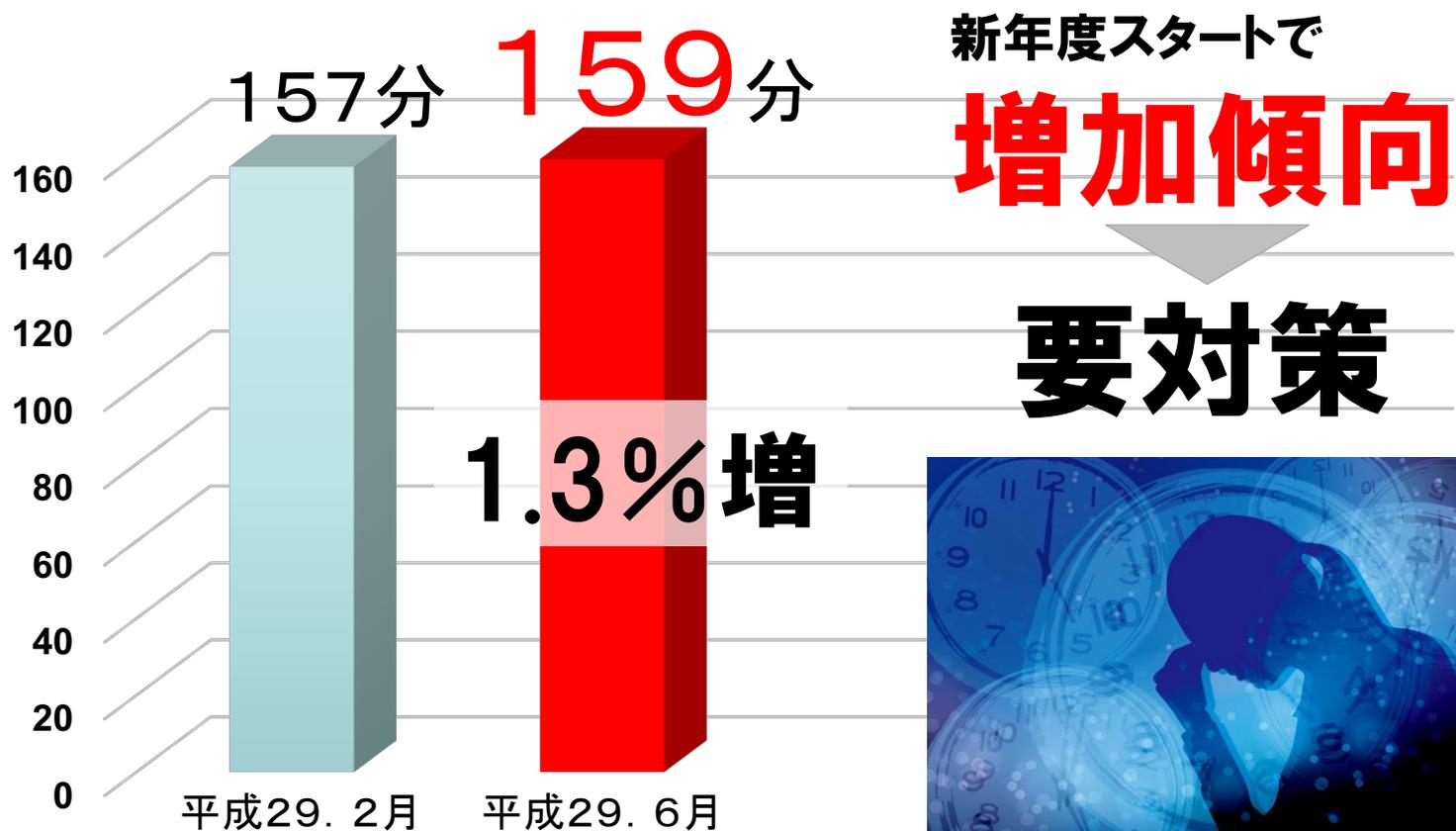
児童数	363名
学級数	
通常学級	12学級
特別支援学級	3学級
職員構成(41名)	
教諭・講師(常勤)	25名
学級アシスタント(常勤:市費)	1名
学級アシスタント(週2日:県費)	1名
その他 生活支援員、登校支援員 等	14名

(平成29年12月 現在)

平成30年1月19日

岡山県総合教育会議資料  
浅口市立鴨方東小学校 安田 隆人

## 一日あたりの超過勤務時間の推移 (一人あたりの平均時間)



# 取り組む前の現状

**KAMOHI GASHI**

- 全職員が平均して退校時刻が遅い。
- 特定の職員が極端に遅い時刻まで勤務している。
- 休日出勤が常態化した職員もいる。
- 会議や終礼が長引くことで、退校時刻が遅くなる。



# 原因

- 業務管理に対する意識が低い。  
(効率的に業務遂行することは分かっている、何となく漠然と業務に取り組んでいる。)
- 早く帰ることに、肩身が狭いと感じている。
- 会議や終礼のあり方。  
(報告や協議内容が混在し、時間設定もない。)
- PTA関係や学校行事の時間的な負担や精神的な負担が大きく、他の業務を圧迫。
- 特定の職員に校務分掌が集中している。



## ■ ビジョン

- 生産性を高め、教育の質の向上を図る。
- 時短オンリーの働き方改革からの脱却。
- 持続可能な学校運営のために、コミュニティ・スクールの導入と、働き方への意識改革の向上を図る。

## ■ 体制

### 働き方改革・CS企画ミーティング

#### わくワーク・CSプロジェクトチーム

【学 校】(7人)

教務・20代教員・30代教員・40代教員・働き方改革CS担当教員（校長・教頭）

【地 域】(4人)

地域住民・企業関係者・PTA会長・PTA役員

【コンサルタント】 (株)ワーク・ライフバランス(東京) 田川 拓磨  
Y's オフィス (岡山) 川上 陽子

【連 携】 岡山大学 教授 熊谷慎之輔  
コクヨ株式会社・コクヨ山陽四国販売株式会社



改善検討全体会  
(全教職員)

検討部会  
(全教職員)

# 本校の働き方改革の特徴

KAMOHIGASHI

## ①保護者・地域・民間企業との協働

外部の視点で学校を見直すことで**意識改革・学校の常識改革**。ミーティングの中で保護者や地域住民の意見を聞いたり、了承を得たりしながらスピード感のある改革を推進。

## ②コミュニティ・スクールとの一体化

学校・家庭・地域が、育てたい子どもの姿や学校・家庭・地域の課題、学校が担ってきた負担や役割等を共有し、地域ぐるみで子どもを育てる気運を高め、教師が心にゆとりをもって、子どもとじっくり向き合うことができる**組織的な体制を整備する**。

## ③3領域を通しての意識改革

**業務改善・時間改善・環境改善**の3領域を設定。そのいずれもで、スケジュール管理や時間対効果等を高め、対象となる業務・行事の目的を明確化して取り組むことで意識改革。スクラップ&ビルド。

# 3つのプロジェクト

KAMOHIGASHI

## 鴨方東小学校の働き方改革の3領域

～生産性を高め、教育の質の向上を図る～

### 業務改善

- ☆業務内容の棚卸し
- ☆コミュニティ・スクールの設置
- ☆校務分掌の新体制化等



### 意識改革

時間外勤務  
**25%減**

### 時間改善

- ☆時間管理の力エル5
- ☆職員会議・終礼改善
- ☆勤務時間の記録等

### 環境改善

- ☆職員室の機能的なレイアウト
- ☆人間関係・同僚性の構築等

# 業務改善プロジェクト

KAMOHIGASHI

## ①業務内容の棚卸し(何をやって 何をやらないか)

- ・業務内容アンケートを全職員に実施し、検討部会→企画M→全体会で協議し、廃止・簡略化・検討するものに類型化。廃止するものは、即実施。

時間的に負担	負担度	気持ち的に負担
授業準備	No. 1	校務分掌
学校行事	No. 2	保護者やPTA対応
校務分掌	No. 3	調査・報告書作成
会議・打合せ(校内)	No. 4	学校行事

## ②コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置

- ・育てたい子どもの姿や学校・家庭・地域の課題、学校が担ってきた負担や役割等を共有。
- ・学校支援ボランティア活動の充実
  - 読み聞かせ、家庭科実習、放課後学習、田んぼ実習、安全パトロール、スクールガード、アサガク防犯教室、赤ちゃん登校日、通学合宿 環境整備 他

## ③校務分掌の新体制化(職務型 → 課題達成型へ)

- ・コミュニティ・スクールの部会組織との一体化による業務遂行。部会構成は、学校・PTA・地域住民で組織する。

学び・考える力向上部会 【知】考える子  
心・やさしさ向上部会 【徳】思いやる子  
体・すこやか向上部会 【体】きたえる子  
地元愛・つながる力向上部会 【つながる子】

(例)心・やさしさ向上部会  
・道徳教育  
・生徒指導  
・人権教育

# 時間改善プロジェクト

KAMOHIGASHI

## ① 時間管理のカエル5(ファイブ)

### 鴨東型 働き方改革のスタンダード 時間管理のカエル5 (ファイブ)

#### ① 最終退校時刻 19:00

→ 18:30に退校音楽  
「おっ！もうこんな時間か〜」(のこり30分を意識して仕事の仕上げを)

#### 定時退校日

→【個別】月に1回：個人の都合に合わせて各自で設定  
【一斉】年に3回：全校統一で設定

#### ② カエルボード

→ 帰れそうな時間(今日、抱えている仕事の分量)を見える化  
黄カエル・赤カエル(19時よりおそくカエル)の先生には、声をかけ合う。  
「なんか手伝えることある〜。」

「私、今日、青カエル(18時までカエル)じゃけえ、なんでもするでえ。」



#### 退校時刻記録表(毎日)

→ 超過勤務時間と業務内容をPC入力。

#### 集中カード

→ 今、非常に取りこんでいる人用  
どうしても用事があるときには、端的に話しかける

#### ③ 若い職員が帰りやすいように、主任は声かけ

「今週は水曜日に〇〇しようや〜(計画・だんどり)」  
「今日ははよ〜帰ろ〜よ〜(朝、宣言)」  
「もうこんな時間よ！今日は帰ろうや〜(先に帰り〜や〜)」  
「出張終わったら、そのまま帰り〜よ〜(自分もお手本になる)」

#### ④ 先に教室で仕事をする

→ 教室へサッと行って、教室仕事をまず済ませる  
結果的に早く帰れる(効率的)  
節電効果(外部からの目も)

※会議・打合せ・分掌・担当学年の現状等によって可能な範囲で

#### ⑤ 休日入校は事前に許可を

・管理職に一声かける  
「土曜日に、2時間ほど来てさせていただきます。」  
・事前が無理なら事後報告も可  
「日曜日の午前中に来て仕事をしました。」



## ② 職員会議・終礼改善

### ・職員会議改善

→ 協議事項の精選、協議項目の所要時間を明記

### ・終礼黑板の活用



## 所要時間

20分強 → 約5分

## ③ 勤務時間の記録など

・勤務時間外の時刻と業務内容を記録

### <カエルボード>



# 環境改善プロジェクト

KAMOHIGASHI

## ①職員室の機能的なレイアウト【コクヨ(株)との連携】

- ・職場環境や会議のあり方についての研修
- ・職員室環境改善アンケート(教職員)と、子どもから見た職員室アンケート(一部児童)を実施し、企画Mの中でのPTAや地域の方との熟議により、理想の職員室イメージを共有。
- ・イメージをもとに、コクヨ(株)からレイアウト図の提案。



### 職員室イメージ

No. 1	すっきり・何がどこにあるかすぐ分かる
No. 2	コミュニケーション・温かい
No. 3	機能的な動線の工夫
No. 4	明るい
No. 5	収納を工夫

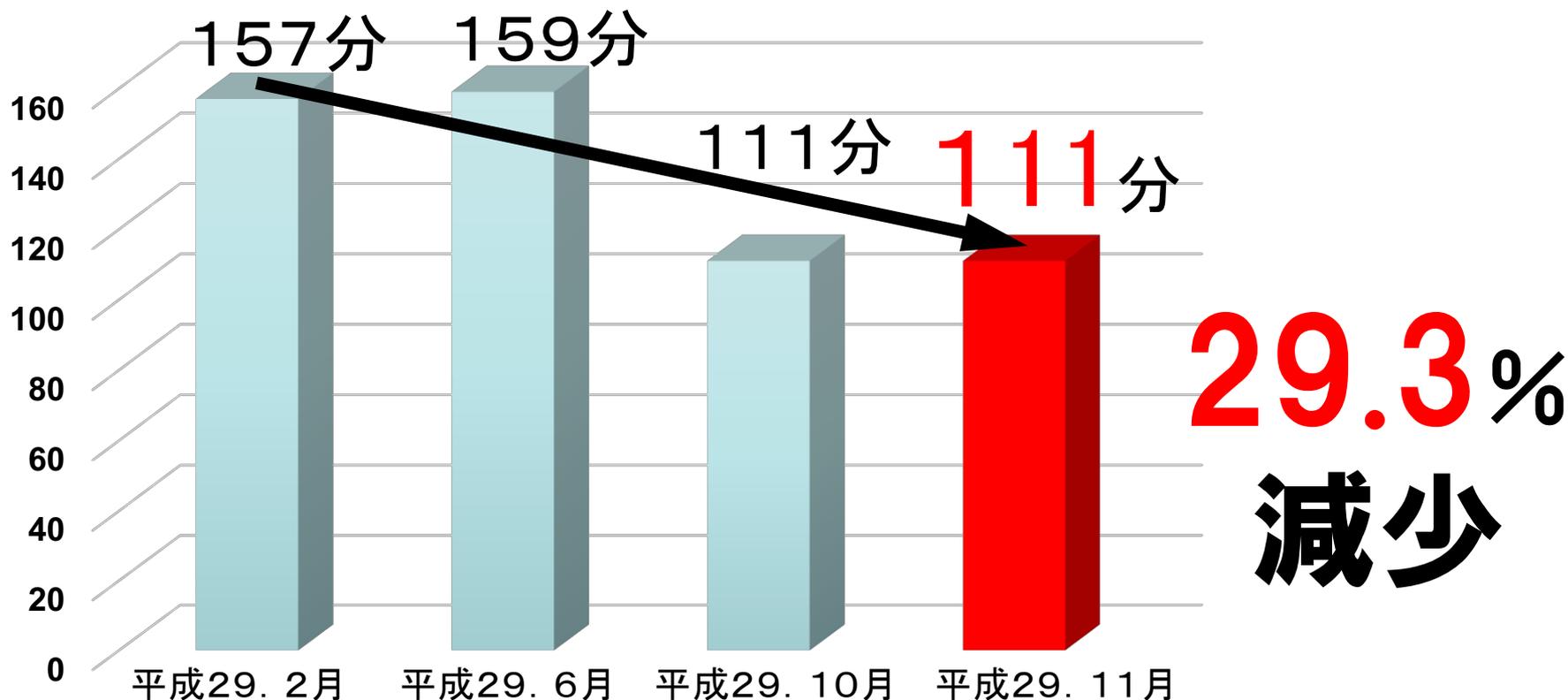


## ②人間関係・同僚性の構築

- ・プレミアムフライデーに合わせ、校内職員レクを実施。この指止まれ方式による人間関係づくり。



## 一日あたりの超過勤務時間の推移 (一人あたりの平均時間)



# 効果

**KAMOHI GASHI**

- 1日あたり、1人平均約1時間の超過勤務時間の縮減
- 帰りやすい雰囲気生まれた。
- 会議や終礼の時間が縮減され、職員もポイントを絞った説明をしようと心掛けるようになった。
- 互いに同僚性を高め合う  
職場環境づくりへの一助。



# 今後へ向けて

KAMOHI GASHI

- 働き方改革（業務改善や意識改革）で、職員のワークとライフの面での成果を調査する。（2月）
- 職員室レイアウト改善を実行する。（2月）
- コミュニティ・スクールとの一体化による取組。
  - ・職務型校務分掌から課題達成型校務分掌への改編と平準化。
  - ・2×2マトリックス法による働き方に関する改善提案や、お得情報等の共有化。
- プロセスと結果の見える化。
- 会議のペーパーレス化。
- 本年度中に全小中学校へ留守番電話を導入。（浅口市）

